**日本母体救命システム普及協議会公認コース開催申請書**

平成　　　　年　　月　　日

日本母体救命システム普及協議会

代 表　 岡 井　崇　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（所　属）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（氏　名）

下記の通り、コースの開催を予定しておりますので、「日本母体救命システム普及協議会コース」として、公認いただきますようお願い申し上げます。

記

|  |  |
| --- | --- |
| コース種類 □に✔を してください | □　ベーシックコース  ※インストラクターコースは当面の間、原則主催開催になります。同コース公認開催の希望は別途ご相談ください。但し、講師が限られるので調整できない場合あります。  ~~□　アドバンスコース~~ |
| 開催日時 | 平成　　年　　月　　日（　　）　　：　　～　　：  平成　　年　　月　　日（　　）　　：　　～　　： |
| 開催会場 | （施設名）  （住　所）〒  （TEL／FAX） |
| 主催団体  運営責任者 | （団体名）  （運営責任者氏名）  （所属名）  （職　種）  （TEL／FAX）  （E-mailｱﾄﾞﾚｽ） |
| 受講予定者 | （職種）　□ 医師　　□ 助産師　　□ 看護師　　□ その他  （人数）　　　　名 |
| 開催世話人氏名 （ディレクター： J-CIMELSの公認） | （産婦人科医師）  （救急科or麻酔科医師） |
| 講師氏名 （J-CIMELSのインストラクター認定者） | （産婦人科医師）  （救急科or麻酔科医師） |
| インストラクター補助の受入 | □可　□不可  ※インストラクター認定要件に、「インストラクター補助を経験する」とあります。インストラクター養成のため、補助の受け入れをお願い申し上げます。募集はJ-CIMELS事務局で行います。 |
| 連絡事項 |  |

* 本申請を受付後、審査の上、公認可否のご連絡をいたします。
* 本申請書は、メール（[jcimels@gmail.com](mailto:jcimels@gmail.com)）、FAX（03-3269-4730）でお送りください。

公認要件等（2016.2現在）

コース開催要件

* 「母体急変時の初期対応」をコーステキストとする。
* 救急科または麻酔科、および産婦人科からそれぞれ1名の「コース開催世話人」が参加し、コースの質を保証する。
* コース開催総時間は最低3時間30分以上とする。
* プロトコール解説レクチャーを含む。
* 実技を中心とした最低6種類のシナリオセッションを含む。
* 受講者は1グループ6名を標準とする。
* 各ブースに1名以上の「認定インストラクター」がおり、各ブースの質を保証する。（当面、各ブースに1名以上の産婦人科専門医がいることを推奨する）
* コース開催に関わる費用に関しては、主催団体で管理する。

コース受講資格

* 医療従事者（医師、助産師、看護師、救急救命士など）。
* 医療系を専門とする学生（医学科、看護科など）。
  + 定員以上の応募があった場合、コース開催世話人（ディレクター）の協議により、応募者の背景を考慮して受講者を決定する。

コース開催世話人（ディレクター）要件

* 別に定める

インストラクター認定要件（協議中）

◎以下のイ）ロ）のいずれかの要件を満たしたものは、プレインストラクターとして登録する。

イ）以下の全ての要件を満たしたもの

　　1.日本救急医学会、日本麻酔科学会、日本集中治療学会のいずれかの会員である

　　2.ICLS、AHA-ACLS、JPTEC、ITLS、JATECなどの

　　　実技トレーニングコースの認定インストラクターを取得している

　　3.今後の認定コース開催に協力する意志がある

ロ）以下の全ての要件を満たしたもの

　　1.日本産科婦人科学会会員である、または日本産婦人科医会からの推薦がある

　　2.ベーシックコースの受講歴がある

　　3.本コース向けのインストラクターコースの受講歴がある

◎ プレインストラクターとして認定コースでの指導を経験すれば、インストラクターとして認定する。

インストラクター（養成）コースについて

＊ 当面、事務局主催でのみ開催し、一定期間を経て指導内容が共有されれば、認定要件を定めて開催認定を行う方針とする。